

# 感 染 症 週 報 [ 市内週報 平成21年第31、32週 ]

## 結核・感染症発生動向調査

平成21年8月11日

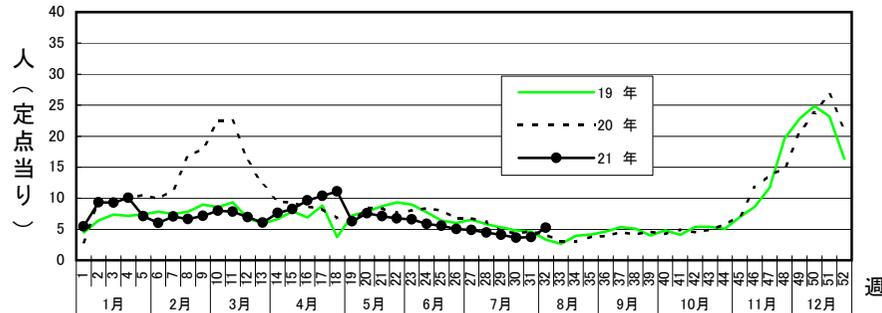
平成21年第31、32週感染症発生状況【川崎市内】

平成21年7月27日～平成21年8月9日

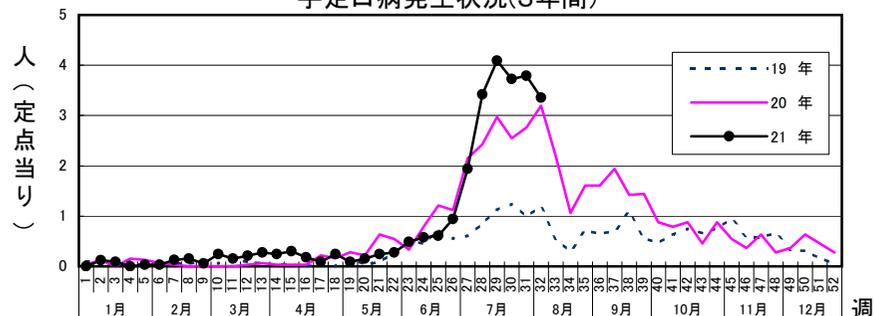
5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第31、32週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) ヘルパンギーナとなっています。</p> <p>夏季になっても、インフルエンザの報告が3週連続で増えています。例年、発生のない夏季の増加は新型インフルエンザの影響があります。また、集団発生の報告数も増えていますので今後の発生動向には注意が必要です。</p> <p>腸管出血性大腸菌感染症の発生が2件(①推定感染原因: 経口感染(焼肉店利用あり)、推定感染地域: 川崎市、②感染原因: 不明、感染地域: 日本国内)ありました。</p> <p>麻しんの発生が2件(推定感染原因: 飛沫・飛沫核感染、推定感染地域: 川崎市)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 13件	結核 233件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2件	細菌性赤痢 2件 腸管出血性大腸菌感染症 10件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件、オウム病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 3件
	5類感染症	ウイルス性肝炎 1件 後天性免疫不全症候群 1件 麻しん 2件	アメーバ赤痢 6件 ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 11件、ジアルジア症 2件、 髄膜炎菌性髄膜炎 1件、梅毒 4件、
新型インフルエンザ等感染症	-	-	新型インフルエンザ 135件*

※新型インフルエンザの全数把握は7月23日までとなっています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



H21年麻しん年齢群別発生報告数(診断週で集計)

	31、32週	累計		31、32週	累計
0歳	0	1	10～14歳	0	3(3)
1歳	0	1	15～19歳	0	1(1)
2歳	0	1(1)	20～24歳	0	2(2)
3歳	1	1(1)	25～29歳	0	0
4歳	0	1(1)	30～39歳	1	3(3)
5歳	0	0	40～49歳	0	2(1)
6～7歳	0	0	50歳以上	0	1
8～9歳	0	1(1)			

( )内の数字は予防接種歴有的人数

川崎市区別の麻しん発生状況(診断週別集計)

